

大学近隣地域での基礎ゼミにおける野外活動報告

小松原 尚

1. 問題意識

大学初年次を含む学士課程教育において、その前半部分におけるキャリア形成指導の重要性は文部科学省の指摘を待つまでもなく、本学にあってもその意義は認識されている。そこで、この種の調査活動は地域経済commonsゼミ履修中の2年生のみに偏ることなく、地域経済commons分属教員の一人である筆者が担当する「基礎ゼミ」を履修中の1年次生を対象に活動を実施する必要性を認識した。

キャリア形成教育は職業指導にとどまらず社会を構成する人々の多様な活動を観察しながら職業観を形成すること。また、地域の様々な現場にふれ、産業活動の実態を観察すること。そして、企業行動が地域の経済活動にどうかかわっているのかをまち歩きからくみ取っていくことにあるように思う。そのための活動の第一歩は学びの場である大学の周辺地域への関心喚起から始めるべきとの考えをもった。

本ゼミではテキストとして、筆者の担当する地域経済commonsの提供するcommons共通科目である「経済地理学」で使用しているテキストを教材として使用している。当該科目を履修中の学生(1年次生)もいるので、当該科目の学習空間環境調査としての性格付けの可能性も模索したいと考えた。

2. 大学近隣地域の学習空間環境調査の概要

2017年4月27日②限目を利用して、学習空間環境調査を実施した。佐保川沿いから大学の西側の崖の植生を観察、ガラガラ池の碑を通過して、近鉄油

研究資料

阪駅跡、さらに登大路を東へ進み近鉄奈良駅周辺や東向商店街の古写真（入江泰吉「昭和の奈良大和路」などをテキストとした）と現在とを比較、その変化を学習環境調査した。県庁東のバスターミナルの工事の様子も遠望した。最後は、ファーストフード店での現地体験観察を行なった。

学習空間環境調査は、学生を調査補助として活用し、学生自らの目線により、対象地での学習活動の環境調査のみならず集合から目的地まで、その往復途上も含む調査活動である。そして、学生からの調査報告に基づき、活動状況の報告を整理した。

大学(学校)教育にあっては何よりも学生の安全に関して最大限の配慮がなされるべきである。そして、学生自身もこの点からの関心を持つ必要がある。この点を移動中における観察報告より確認してみたものを次に記す。「大学から交差点へ出ると道幅が広く感じられ自動車の流れは良好であったが、歩道は少し狭く感じた。車道が大通りで車の数も多いため、自転車も歩道を走ることが多い。また、途中にはバス停もあるので更に狭く感じ、今回のように団体が通るとどうしても道幅いっぱいスペースをとってしまうので、歩行者と自転車が快適に通行するためにはより広い道幅が必要」との意見があった。

次に、学外の店舗の利用から得た知見としては、ファーストフード店での観察活動も実施したが、店舗におけるインバウンド対応についての観察結果では、外国人観光客の多い観光地の近くにあるため、英語を話せる店員がほとんどだったこと。外国人観光客に向けてのお土産（チェーン店オリジナルのペンケース）コーナーもあったこと。そして、店員さんのように、外国人観光客の方々に対して英語で会話を成立させられるような英語力を身につけたいと思ったことの報告があった。

また、今回の活動の学生自身の得たものとしては、昔の写真と対応させることで、今では存在しないものでも少しだけ名残があったりするのがいいなと思ったし、昔の奈良の様子を垣間見ることができてよかった。タイムスリップをしているような感覚で楽しかった。さらに、一人でいても気づくことができない部分を先生や基礎ゼミのみんなと巡ることができてたのしかった。

という意見があった。

3. 教養教育のめざすもの

本学は、研究者の養成を目的とはしない。また、高度な資格を有する職業人の養成のための大学でもない。後期中等(高校)教育と社会人とをつなぐ4年間の教養教育を主軸とする高等教育機関である。したがって、所定の修業年限を終え、就職するということになる。そのための職業選びにあたっては選択肢の多様性を学生自らか考えられるようにする必要がある。その前提として、現場体験に根差した教養教育は不可欠である。

これまでの筆者の研究によれば、教員の引率による活動か、学生独自の活動かによらず、その成果と調査活動の結果との関連を分析してみると、いずれの場合においても、学生は学外における諸事象の観察体験を職業観の形成に役立てていることがわかっている。さらに、4年次生に限らず、学年横断的に企業訪問、企業合同説明会、対人面接の学習機会に設けることが重要との結論を得ている(平成28年度地域志向教育研究費助成成果報告「学生の進路実現のための地域志向教育に関する調査・研究」)。

今回の学習空間環境調査はこれまでの調査・研究活動の延長線上にあり、調査結果は、初年次教育という観点から職業観の形成と教養教育の密接不可分な関係性を考察する上で、新たな知見を得るための基礎資料と考えられる。今後の活用をすすめたい。

本活動の概要は、「奈良県立大学情報誌 コモンズー学びの共同体ー」第11号、3頁に掲載されている。

研究資料

[1] 移動中における観察調査

1の1表 景観資源調査

【活動事項】

徒歩移動中眺められる景観で、興味のあった地点とその内容をいくつでも記す。

調査者番号	観察内容
1	<p>①大学から JR 奈良駅へ向かう道はまだ新しく見え、人通りが少なく通行しやすい歩道となっていた。そこから交差点へ出ると道幅が広く感じられ自動車の流れは良好であったが、歩道は少し狭く感じた。車道が大通りで車の数も多いため、自転車も歩道を走ることが多い。また、途中にはバス停もあるので更に狭く感じ、今回のように団体が通るとどうしても道幅いっぱいにはスペースをとってしまう。そのため、自転車の場合は歩行者がいなくともじれったく感じるであろう。したがって、歩行者と自転車が快適に通行するためにはより広い道幅が必要だと思った。</p> <p>②JR 奈良駅へむかう道について、もう1つ気になった点がある。線路を取り払い、道路に変更したことや、池を埋め立てて住宅地へと変わっていった点だ。奈良市に住む人々が増え、住宅開発が優先されていったことは美しい景観を失うことになるが、街の活性化のためにある程度は仕方ないことだと思った。線路については、再利用せずに新しく上に通したことが斬新だと思った。これは、奈良県立大学の敷地が勾配になっているように、奈良市の地形が関係しているのだと推測される。</p> <p>③JR 奈良駅以外に近場には近鉄奈良駅もあり、この駅前に来てみると、商店街もあり賑わっていたが、その分人通りが多いため、ここももう少し広々としていれば歩きやすくなり、待ち合わせ場所としても最適になるであろうと思った。しかし、ここには屋根が設置されており、地理的にもホテルや興福寺などに近いといった点があるので素晴らしいと思う。</p> <p>④また、このあたりはもともと路面電車が通っていたらしく、これも興味深い。今の風景と比べてみると、線路の境目が蓮長寺や信号に表れており、50年前から存在していた住宅もあった。そこから東へ進むと、奈良公園前あたりの道路の幅がかつての線路の幅と同様で、50年前の名残が感じられた。</p> <p>⑤路線バスもよく見かけ、観光客や地元住民の足になっていたのも、電車やバスといった交通の便が整っておりやはり利便性に優れた街だと感じた。</p> <p>⑥観光客が増えており、バスターミナルが新設されると聞いた。これにより他の観光地からのバスが増えることや、逆に、奈良から他の観光地へと向かうバスツアーも考えられる。他の観光名所と連携していく以外にも、今まであまり注目されていなかった（PRしても目を向けられなかった）地域へ手を差し伸べることも可能であろう。</p>
2	<p>①細い道には桜の木が並んでいて四季が感じられる。</p> <p>②奈良県立大学は裏から見ると高台にあることが分かる。</p> <p>③JR 奈良駅付近の道は歩道が広く、花も綺麗に植えられていた。</p> <p>④近鉄奈良駅前の行基の噴水は、平日にも関わらず人が多かった</p>
3	<p>①佐保川沿いの桜並木…川沿いにたくさん桜の木があって入学式の時に通ったときもきれいだったのでいいなと思いました。</p> <p>②東向き商店街…近鉄奈良駅の近くにあり、活気があつていいなと思いました。また、マクドナルドやミスタードーナツなどチェーン店がある中に大仏バーガーのお店や奈良のお土産のお店などがあるのもいいなと思いました。</p> <p>③鹿…歩道の真ん中に普通にいて少し怖いけれど、奈良に来たという感じがするところだと思います。</p>
4	<p>①大通りの不自然な位置に信号機があるかつての路面電車の境目の名残である。</p> <p>②大学裏に小さな崖がある。木津川の流れにより形成され、興福寺の台地から続いている。</p> <p>③奈良県バス発祥 100 周年。100 周年仕様にラッピングされたバスが走っており、記念のイベントも開催されるようだ。</p> <p>④近鉄奈良駅前の通りの道路の幅は、奈良国立博物館前の通りの二倍の幅になっている。</p>

大学近隣地域での基礎ゼミにおける野外活動報告

5	<p>①大学周辺の JR の高架→以前は、電車は地面を走っていた。道は細く、大学近くには踏切があった。</p> <p>②ガラガラ池遺跡之跡：かつてため池があった場所。昭和時代に市街地事業により埋め立てられた。</p> <p>③旧油阪駅跡：ホームは 2 階にあった。</p> <p>④今辻子の信号前：電車が地上に変わる境目だった辺り</p> <p>⑤資料の写真⑤「相互銀行」：現在は「関西アーバン銀行」</p> <p>⑥奈良県庁：昔は興福寺の敷地だった</p> <p>⑦興福寺のある場所は地面の高さが高く、その高さの端に位置しているのが現在の奈良県立大学である。</p> <p>⑧ひがしむき商店街や興福寺周辺では海外からの旅行者が多いように見受けられた。</p>
6	<p>①奈良県立大学の裏門を出て進むと川が流れており、まだ桜も咲いていた</p> <p>②奈良県立大学は住宅地よりもかなり高い位置にあった</p> <p>③JR 大和路線の走る下には「ガラガラ池遺跡」というものがあり、名前が特徴的だったので目立っていた</p> <p>④JR 奈良駅から奈良県立大へ向かう途中にある花壇の場所は、かつての油阪駅であった</p> <p>⑤油阪から近鉄奈良駅までの道路が広いのは、元々は線路があったからだ</p> <p>⑥近鉄奈良駅のとりにある「ひがしむき商店街」は、名前は昔から変わっていないが、入り口に屋根が出来たりと景観の変化は見られた</p>
7	<p>①「学西崖」には様々な種類の花が咲いていた。</p> <p>②「学西崖」に沿って歩いていくと、段々道が狭くなり、伸びた雑草等で多少歩みにくい箇所があった。また、痴漢注意を喚起する看板が多く見られた。野草が多く生えていることからごみ捨て注意の看板も見られた。</p>
8	<p>①商店街の入り口の門など、今も変わらず使われているものも多くあった。</p> <p>②歩道の道幅が広がった。</p> <p>③歩道緑化が多く見られた。</p>
9	<p>①ガラガラ池跡 昔は水が乏しかったため、ため池が必要であった。</p> <p>②関西本線の高架下は今では空き地になっているが、昔は線路が通っていた。</p> <p>③現在の市役所の辺りから花壇の辺りには、昔油坂駅があり、ホームは 2 階にあった。</p> <p>④写真資料の 2 の場所はもとは路面電車の境目であった。</p> <p>⑤三条通りからのお参りの道は鉄道が軸となっていた。</p> <p>⑥近鉄奈良駅へと続く横断歩道は、もとは斜め横断の歩道であり電車がホームに入ってから渡っていた。</p> <p>⑦かつては地上にホームがあったが、今は地下にある。</p> <p>⑧現在関西アーバン銀行となっている建物の看板が写真資料の 5 の看板と同じである。</p> <p>⑨興福寺の方へと続く道は、もとはお寺の境内だった場所に県庁などを建てたため、お寺の境内にあった松の木が今も道路から飛び出るように生えている。</p> <p>⑩現在の登大路ホテルはもとは森精機という大企業であった。</p> <p>⑪地理的に一番高い所に興福寺があり、天皇のいらっしゃる場所よりも高い所に位地する。</p> <p>⑫現在の奈良公園の横の道路は芝生の道であったところを広げて作られた。</p>
10	<p>①ガラガラ池遺跡之碑より、学校周辺に以前は池があったことがわかり街の開拓の様子が見えてくるところが面白かった。</p> <p>②昔からの姿を残す家などの建築物より、変わりゆく街の中でも昔の街の様子を推測できるところが面白かった。</p> <p>③学校と学校西側の住宅地とでは住宅約 2 階分程の高度差が川の流れによってうまれたという地理的変遷を見ることができた。</p>
11	<p>①学校から近鉄奈良駅に向かう途中にある信号は、路面電車が走っていた時の名残が残っている。(入学してから、どうしてここに信号があるのだろうか…と疑問に思っていた)</p> <p>②JR 奈良駅から学校へ向かう道には、以前踏切が存在していた。</p>

研究資料

	③奈良公園で花粉が大量にとんでいて、花粉症の私にとっては衝撃的な光景であった。
12	①ガラガラ池遺跡の周辺は昔は池であったという事なので、昔の風景や埋め立てられた経緯を知りたいと思った。 ②商店街には昔からあるお店も新しいそうなお店もあったので、商店街の街並みの変化を調べてみたいと思った。 ③駅前を通りには路面電車が通っていた名残があるので、当時の様子がどのようであったかを調べてみたいと思った。
13	①「学西屋」には、多くの草花が生えていた。 ②船橋商店街の入り口の隣の歩道には花壇があり色とりどりの花が植えられていた。

1の2表 危険発見調査

【活動事項】

交通上の危険箇所、道路渋滞など、学習のための移動に際して、注意喚起の必要な場所とその内容を幾つでも記す。

調査者番号	観察内容
1	①前述したように車の通りは非常に多い。自転車で車道を進む際には注意が必要である。 ②また、2、3車線となっており車道の幅は広いので、歩行者が信号で歩く距離は長くなっている。子連れの方、高齢者、障害者、団体の方が通る際には注意する。 ③さらに、観光地は密集しているとはいえ、様々な場所を巡るとその距離は意外と長くなり、観光地も屋根が無い場合が多いので、日差しや気温には注意すべきである。特に5月は対策が不十分になり、熱中症になることもあるので注意が必要。
2	①住宅地の裏道は草が成長して少し歩きづらい。 ②奈良県立大学の裏の地蔵がある道は細くて車が来た時に避ける場所があまりない。
3	①学校の裏の道路…とても幅が狭いので車が来るとぎりぎり危ないと思いました。 ②近鉄奈良駅に向かう途中の道…歩道だけど自転車と通ると危ないので、あまり広がって歩かないほうがいい。 ③油阪船橋商店街の信号…道路を横断するとき曲がってくる車が割と早く来るので気をつけて渡った方がよい。 ④鹿がいるところ…鹿の飛び出しなどもあるみたいなので車を運転する人は気をつけなければいけない。 ⑤車通りが多いので、先生の話が聞こえるところまでいったほうがいい。
4	①近鉄奈良駅付近のバス停は大きな荷物を持った旅行者が多いので、道が狭くなる。 ②大学裏の道は狭く、信号機もない。特に後ろからの車や自転車などには気づきにくい。 ③興福寺付近は立ち止まる人も多く、辺りに鹿もいるので道路が混雑しやすい。人同士でぶつかりやすいようである。
5	①佐保川の堤防：道幅が非常に狭いため、前後からの車や自転車に注意。 ②興福寺周辺：鹿に注意。
6	①奈良県立大学の裏門を出てすぐの川沿いの道はあまり広くなく、普通車が通るので精一杯だったため、これから調査をする場合は行人の邪魔にならないように気をつける ②奈良公園の前の道は比較的広めであるが、平日でも観光客で溢れているため、こちらも調査の場合は前方に注意する
7	①「学西屋」を抜けると信号が無い箇所があり、その割には車や自転車の通行が多かった。 ②近鉄奈良駅に向かって大宮通りを歩いていると、自動車の通行量が多く、歩行者と自転車と同じ道を進むため大人気で歩いていると危険。 ③近鉄奈良駅近くのバス停では外国人観光客が多く、観光客のキャリーケースのコマにつまづく危険性も有り。 ④奈良公園の杉の木から花粉が大量に出ているため、花粉症の人は注意が必要。
8	①佐保川沿いの道は狭いが歩行者専用ではないため、自動車、バイク、自転車に注意する必要がある。(看板あり) ②奈良県立大学校門前の坂を下りた、関西本線の通っている交差点は合流する道が多く、

大学近隣地域での基礎ゼミにおける野外活動報告

	信号もないため注意が必要。(看板あり)
9	①奈良県立大学の裏の道はチカンに注意の看板が多数みられた。 ②近鉄奈良駅から興福寺へと続く道は、観光客で大変賑わっておりまた、道路の車通りも激しいため、人や車に配慮しながら歩く必要がある。 ③奈良県立大学から近鉄奈良駅へ向かう道は狭い道が多く、また自転車の往来が多いため注意する。
10	①学校の北側を流れる川への転落防止のガードレールの不足。 ②大人数が移動するため、移動中に歩行者や自転車、車の邪魔になる可能性がある。一周りをよく見て周囲へ注意喚起する。
11	①奈良公園には鹿がたくさんいるが、観光客に寄って行って服に噛み付くなどの行為を見かけた。野生動物のため、鹿と接する際に注意を払わなければならないと思う。また、奈良公園付近の道路に鹿が侵入する恐れもあるので、ドライバーは周りを見ながら安全運転を心がけるべきだと思った。 ②学校の横の川に面する道は、仕切りがない場所がたくさんあったので、誤って川に転落しないように気をつけなければならない。
12	①駅前のバス停は、バスを待つ人や歩いている人が多いのに、その中を自転車で通る人もいて危ないと感じた。 ②大学の裏の川沿いの道はほとんど自動車一台分の広さしかなく、自動車と歩行者や自転車とすれ違うのが危険である。
13	①本学裏手の川沿いの道では車どおりがあるが極端に道が狭く注意する必要がある。 ②近鉄奈良駅へと続く大通りでは交通渋滞が頻繁に見受けられる。

1の3表 移動時学習環境調査

【活動事項】

学習の場として利用する場合に、

(1) 学生が予め準備しておくべきこと

調査者番号	準備内容
1	メモ帳(フィールドノート)、筆記用具、携帯電話(カメラとの併用)
2	フィールドノートに今回注意する点を予め書き込んだ。
3	①歩きやすい格好でいく ②熱中症対策としてこまめに水分補給をする ③常にメモをとれるようにフィールドノートの準備をしておく
4	移動しやすい靴、服装、水分、筆記用具
5	①移動の際に歩きやすい服装を心掛けた(ズボン、スニーカーなど) ②写真を撮ったりメモを取ったりするために、スマートフォンを用意した。
6	①歩きやすく履き慣れた靴、動きやすい服装で取り掛かった。 ②すぐに荷物が出せるように、リュックではなくトートバッグを用意した。
7	調査日は快晴で、気温が高くなることが予想されたため、帽子、日焼け止め、十分な水分、歩きやすい靴の準備が必要とされた。
8	動きやすい服装、運動靴、日焼け止めクリーム、カメラ、メモ帳、ペン
9	①歩きやすいズボンと履き慣れた靴でフィールドワークへと望んだこと。 ②スマートフォンで写真を撮りつつ、メモ帳にメモを取るためにスマートフォンにメモ帳のアプリをインストールしたこと。
10	歩きやすい服装、靴、水分補給のための水筒、筆記用具、雨具、必要資料
11	筆記用具とメモ帳、歩きやすい靴
12	メモを取るための手帳、シャーペン
13	歩きやすい靴、動きやすい服装、日差しを避けるための帽子

(2) 今後、移動中の装備として自ら準備すべきと考えられるもの

研究資料

調査者番号	準備内容
1	メモ用のフィールドノート、筆記用具、カメラ、調査する土地や建造物などの資料、地図、事前調査、飲み物、動きやすい服装、携帯電話
2	①これから暑くなるので帽子が必要だと考える。 ②鉛筆、フィールドノート、プリントなど比較的良好に使うものをすぐ取り出せるようなカバンに入れること。 ③写真にして町並みを残すこと。
3	①ノートに書きやすいように小さい下敷きを用意する。 ②私が使っているのは0.3のシャーペンで移動しながら書くことは大変だったので、鉛筆などを用意する。 ③体温調整をしやすい格好にする。
4	①確認すべき要点をまとめたフィールドワークノート ②メモを取りやすい大きめのボード ③天候が良い場合、日光を遮れる帽子
5	特になし
6	①日中は日差しが強くなり気温も上がるので、水分補給用の飲み物、汗を拭くタオル、必要であれば帽子などの日焼け対策をしっかり準備する。 ②写真はすぐに撮れるように、カメラ類は首からさげられるようにする。
7	体温調節しやすい服装(脱ぎ着可能な服)、荷物の出し入れが容易な鞆、マスク。
8	これからもっと熱くなるので、帽子、飲み物が必要。
9	ペンが挟めるバインダー、日焼け止めクリームを持参
10	通年→歩きやすい服装、靴、水分、筆記用具、必要資料、雨具 暑い日の場合→充分な水分、日焼け止め、帽子 寒い日の場合→手袋、マフラーなどの防寒具
11	夏に学外実習を行う場合、熱中症になる危険性が考えられるため飲みものと日除けの帽子などを用意するべきであると考ええる。
12	地図、腕時計、カメラ
13	地図

(3) 安全に移動するための留意点

調査者番号	準備内容
1	周りの人や自転車、車に気を配る。団体で歩く際には広がって歩かないようにする。交通ルールや規則を守る。特に歩きスマホをしない。体温調節と体調管理
2	細い道も多いため広がって歩かずによりか二列になって歩くこと。信号や歩行者など待たせてしまう場合は急ぐこと。
3	道に広がらないようにする。近くに迷惑している人がいないか周りを見て行動する。
4	メモを取るときは、その都度周りの邪魔にならないところで立ち止まる。
5	①車輦に注意し周囲をよく見て歩く。 ②ゼミのメンバーの大人数で移動したため、前後からの歩行者の邪魔になっていたことがあった。道に広がらずに移動すること。
6	①どのような道でも前方後方をきちんと確認し、通行する人の邪魔にならないようにする。 ②歩みながらのメモ書きはなるべく避け、歩くことを優先する。
7	大宮通りの自転車の通行、横断歩道だけの場所での横断、外国人観光客のキャリーケースのコマ
8	①狭い道が多かったので常に周りに気を配る必要がある。 ②メモをとったり、写真を撮って記録を残すのはよいが、場所やタイミングを考えなければならぬ。 ③基本的には1列で移動。

9	歩きスマホは禁止し、必ず止まって操作する。
10	①移動中に、歩行者や自転車、車の邪魔にならないように周囲に注意を配りながら移動すること ②歩きやすい服装、靴を着用すること ③歩きながらの作業を控えること ④移動するもの同士が互いに注意喚起をすること
11	歩行者、自転車、右折左折してくる自動車など、周りの様子をしっかりと見て行動する。
12	話を聞きメモを取る時や、写真を撮る時などは人の邪魔にならない場所に移動して行く。また歩く時も、広がらずに可能な限り邪魔にならないように歩く。
13	①交通ルールを順守する。 ②道幅が狭い道では自転車や自動車に気を配る。

[2] 現地体験観察

2の1表 現地地理解促進度

【活動事項】

同じチェーン店でも店舗によってサービス内容や店内のレイアウトに違いがみられたか。

調査者番号	観察内容
1	①近鉄奈良駅に隣接する商店街のマクドナルドを訪れ、自分の地元と比べてみると、サービス内容に違いは見られないが、マクドナルド奈良店はより狭く、1階に座れるスペースがなかった。 ②しかし、狭い店内に沢山の客が入ってもいいように、仕切りを用い並びやすいように、混雑しにくいようになっていた。また、その仕切りの途中には商品やキャンペーンの紹介がされており、それは目に留まりやすい配置になっていた。
2	①サービス内容は同じだと感じた。 ②店内のレイアウトは、私の地元のものよりもスペースが広がったように感じた。
3	①多くの外国人が訪れる奈良だからこそ、店員の方が英語をとでも流ちょうに話していた。これは、観光客が多く訪れる近鉄奈良駅の近くにあるからだと思いました。 ②1階はあまり座席数がなかったけれど、2階にはたくさんの座席があり、たくさんの方が来ても対応することができていいなと思いました。 ③2階の中央にグランドピアノが置いてありました。
4	①提供されている商品など大まかなサービスの違いはないが、デリバリーサービスやドライブスルー、マックカフェの有無などは店舗によって異なる。 ②店内のレイアウトも、それぞれの店舗の広さや客層に合わせて異なっているようである。カウンターは、大都市の店舗や利用客が多い店舗ほど多く設置されていて、効率化に活かされている。
5	①サービス券の配布 ②2階席がある（地元の店舗との違い：2階席がない） ③レジの数が多く感じられた（地元の店舗との違い：レジの数が半分）→駅に近く、客が多いことが予想されるため？
6	①一階にはイートインのスペースはほとんどないが、二階には中央にピアノが置いてある広々としたイートインスペースがあった。 ②外国人観光客の多い観光地の近くにあるため、英語を話せる店員がほとんどだった。
7	①サービス内容に違いはなかったが、商店街内という立地から客数が多くなるのを予想してか、仕切りで進行方向を定めていた。 ②狭い店内の割にカウンター数が多かった。 ③外国人観光客に向けてのお土産(マクドナルドオリジナルのペンケース)コーナーも有り。
8	①販売スペースは1階、食事スペースは2階とフロアが分かれていた。 ②人数が多かったこともあり、注文するカウンターと商品を受け取るカウンターが異なり、流れ作業のような接客形式であった。

研究資料

9	お店の前に奈良県のマスコットキャラクターである「しまろくん」の置物がある。
10	①サービス内容の大きな違いは見られなかった。 ②店内のレイアウトに関して、多少他店との違いはあったが大きな違いは見られなかった。
11	観光客大勢訪れることもあって、店員の皆さんは英語を話せる人が多かったように感じる。実際に私が注文している横のレジで、英語で接客を行っていた。
12	お客さんが多いので、注文するために並ぶスペースが広くつくられていると感じた。また1階に食事のための席はあまりなく、2階にたくさん設けられていた。
13	①同じマクドナルドでも奈良店は景観を損なわないような工夫がなされていた。 ②サービス内容にあまり違いは見られなかったが、席の数や配置が異なっていた。

2の2表 ホスピタリティ度

【活動事項】

店舗の従業員や案内担当の皆さんは、お客様（あなた）に対する接客に習熟していたか。

調査者番号	観察内容
1	一つ一つ丁寧に迅速な対応をしてくださった。聞き取りやすい声、注文しやすい対応で、接客は成熟していた。
2	マニュアルが決まっているためかもしれないが、しっかりした接客だった。入りやすいと感じた。
3	①とても優しく忙しそうにしていながらも、丁寧に対応してくれました。頼んだものが出てくるのも早かったです。 ②挨拶や受け答えもすぐきはきはきしていて、気持ちよく買い物を終えることができました。
4	マクドナルドの従業員は接客に習熟していた。笑顔で明るく挨拶され、私も気分がよくなった。また、カウンターに並んでいる客にメニューを配ったり、忙しい時でなければ帰りにドアを開けてくれたりするなど、細やかな気遣いがよくできていて周囲によく気配りができている。
5	①笑顔で、スムーズな接客。 ②新商品への質問に答えてくださった。 ③わたしの前に並んでいた海外からのお客さんに英語で対応していた。
6	①レジを担当していた店員は、並んでいる客の状況をきちんと把握し、客によって言語を使い分けていた。 ②店内は混んでいて、店員の対応はスピーディーだったが、商品を渡す時や接客時は丁寧に挨拶もしっかりしていた。
7	店舗の従業員や案内担当の皆さんは客(自分)に対する接客に習熟していた。
8	挨拶や注文の復唱、笑顔など、接客態度はよかった。
9	今回はサービス券を使ってポテトを購入したが、混雑している中13人も人が立て続けにサービス券を使うことを笑顔で受け入れてくれた。また、お持ち帰りの袋に持ちやすいようにとさらにビニールの袋に入れてもらった。
10	スムーズで気持ちの良い接客であった。
11	①注文の流れもテンポが良く、待ち時間の削減に繋がるだろうと考える。 ②椅子と椅子の間にペンを落としてしまい、手を入れても取れない状況であったが、従業員の方に頼むと、隙間にホウキを入れて取り出してくれた。
12	丁寧な言葉遣いでテキパキと接客していた。笑顔で接客していたので、良い印象をうけた。
13	①従業員の方々は接客態度が素晴らしく丁寧に対応していただいた。 ②注文を聞くと、商品を渡すとき、全てにおいて笑顔で対応していた。

2の3表 商品適合度

【活動事項】

サービス券の利用によって購買意欲は高まったか。

調査者番号	観察内容
1	サービス券があると「サービス券があるから寄ろう」「昼食をここで済ませよう」「ついでに他のものも買おう」と思え、購買意識は高まったといえる。
2	購買意欲が高まる。サービス券と合わせて何か買っていいのかな、という気になる。
3	①お昼ご飯の時間だったこともあり、ポテトがもらえるならとついでにハンバーガーも購入してしまいました。 ②私の場合、サービス券があってもそれだけを頼むのは気が引けて何かを頼んでしまうので、購買意欲が高まっているといえると思います。
4	無料サービス券により、購買意欲が高まった。「せっかくサービス券を貰ったのだから、使わないもったいない」という考えで、お店に足を運ぶ人が増える。また、「無料サービス券だけ使って、ほかの商品を買わないのは申し訳ない」と考える人もいるので、サービス券以外の商品も売れるようである。
5	①サービス券の利用→購買意欲が高まった。 ②商品購入時に新しくサービス券をもらうことができたため、「また行こう」という気持ちになった。
6	①無料券を利用することで他の商品を買う余裕が生まれた。 ②サービス券に記載の商品を買ったことがなければ、その券を利用することで商品を試すことが出来るので、購買意欲の向上に繋がる。
7	①サービス券により、購買意欲は高まり、他の商品に対する購買意欲も高まった。 ②結果、ポテトだけでなく他の商品も購入した。
8	新商品や期間限定の商品などは大きくポップなどでアピールされており、サービス券の対象ではない商品への購買意欲が高まった。
9	サービス券の利用によって購買意欲は高まったと言える。なぜなら、サービス券によってマクドナルドへ行く機会ができるからである。そして、ポテトのサービス券にすることによって、空腹な人はハンバーガーなどの他の商品も追加で買う機会ができ、注文するカウンターまでの並んでいる間に写真付きや、期間限定などのキャッチコピーが記載されているメニューを見せることで購買意欲を高めることができる。
10	サービス券による特定の一品の無償供給サービスにより購買意欲が高まった。
11	サービス券に加えて、何かほかの物も注文しようとするため、購買意欲は高まっていると考える。
12	サービス券だけの利用は申し訳なく感じたり、ついでに他の商品も欲しくなってしまうりするので、購買意欲は高まったといえる。
13	①ポテト無料券でポテトをもらったので、喉がかわいてドリンクも一緒に購入した。 ②クーポン券の影響で普段購入しない商品を購入した。

[3] 学習関連観察

3の1表 勉学関連性

【活動事項】

今回の活動で得られた知見は、今までのあなたの勉学とどのように関連するか。

調査者番号	観察内容
1	①今回、道幅に着目したり、需要の低い既存建造物を取り壊しよりよい店舗や住宅を造るといった地域創生を知ったりしたことが、これから自分が考えていくまちづくりという大きなテーマに直接関係している。 ②また、新しいことを発見していく、そしてそれに思考を巡らすといったこともまちづくりに関係している。
2	①小学校の時のフィールドワークの授業で、見て感じたことなどをメモすることをしていたのを思い出した。 ②今回の活動で得られたいつも通っている道を改めて考えることのワクワク感は小学生

研究資料

	の時のフィールドワーク体験と関連していると思った。
3	①昔の写真と対応させることで、今では存在しないものでも少しだけ名残があったりするのがいいなと思ったし、写真を通してではあるけれど、昔の奈良の様子を垣間見ることができてよかったです。そんな中で、長い時間がたってもまだ残っている建物はすごいなと思ったし、大事にしていかなければならないなと思いました。 ②私は高校で世界史の勉強が一番好きで興味があったのですが、戦争や災害などでなくなってしまう建物はたくさんあったのでたくさん残っている奈良はすごいなと思いました。
4	これまで高校で学んできた、地理の勉強と深く関わる。特に、「木津川の流れてできた大学裏の崖は興福寺の台地から続いている」といったような土地の形成、近鉄奈良駅付近の町の形成などは、座学の地理で学んできた地域の形成に関連している。
5	—
6	①街の形や景観の変化が奈良の歴史を表しているように感じた。 ②高校までで習った歴史では奈良について深く勉強したことはあまりなかったが、これを機会に積極的に学んでいきたい。
7	①配布されたプリントなどを見て満足するだけでなく、実際に見て体感する大切さを感じた。 ②景色を見る際、現在ではインターネットの使用が多いが、実際体感しないと気づくことが出来ない事柄も多くあった。
8	鉄道や路面電車などの交通の変化や埋め立てなどの地形の変化から、経済の変化、住民生活の変化を考察し、奈良市の現状を知ることができる。そのうえで奈良にとってのまちづくり案を考える。
9	昔の写真と見比べながら歩き、自分の足で学びを進めていく姿勢は、小学校の時に行った課外活動などにつながっていると考える。実際に歩いて街の雰囲気を肌で感じるることによって学への好奇心をもたらしていると考え。さらに、サービス券を使うなどの体験を通して人と関わり合いながら目や姿勢もまた課外活動とつながっていると考える。
10	街の変遷を実際に自分の目で感じるにより、これまでの勉強で得た知識の理解度をいっそう深めることができた。
11	昔の街と、今の街のどこが変わっていて、どこが変わっていないかという内容のことを中学生の頃にも勉強したのでそれを思い出した。
12	この数十年での地域の変化は、その地域の現在の観光客の多さにもつながっているという事。
13	今回、奈良の街の変遷や知らない一面を知ることができたが、それは今まで学んできた地理や歴史と関わりが深いと考える。

3の2表 ひらめきときめき性

【活動事項】

今回の活動の体験から、どのような発見があったか。ドキドキするようなことがあったか。

調査者番号	観察内容
1	①前述したように、道路の道幅が歩行者の妨害に繋がっていることを発見した。 ②教授の話や50年前の写真などから路面電車が走っていた時代の事情や雰囲気が伝わった。 ③今では路面電車の代わりに自動車が通り、それに加えて電車も走っている現代は50年前より進化している。
2	ずっと奈良県に住んでいるが、JR奈良駅近くに昔街があったとは知らなかった。自分が知らない奈良がまだまだあると思うとワクワクした。もっと知りたいと思った。
3	①写真を通して昔の奈良の様子を知ることができるのは、タイムスリップをしているような感覚で楽しかったです。鉄道とかの線路があったとか、銀行の話など私が一人でいても気づくことができない部分を先生や基礎ゼミのみんなと巡ることができてたのしかったです。

	②奈良公園の鹿がお祭儀することなども友達に教えてもらいました。とてもかわいかったです。
4	①不自然な位置にあるものや道路の幅など、昔の写真と比べることでさまざまな要因や形成に至った背景などがわかってきた。例えばガラガラ池遺跡之碑から、周辺の土地が元はため池で埋め立てられて今の土地があるということがわかった。他にも近鉄奈良駅前の大通りに昔は路面電車が走っていたこともわかった。 ②今回の活動・体験から、自分が普段歩いている道にはそれぞれ意味があり、歴史とともに変化してきたということが分かった。そしてそれを知ることが自分にとってとても魅力的だということもわかった。
5	①奈良に引越してきて約1か月たったのだが、大学や駅周辺のことですら全然知らなかった昔の写真の資料と比較して、面影の残っている場所や歴史を感じられる場所を見ることができてとてもよかった。 ②全国にマクドナルドはあるけれど、まじまじと見たことはなかったため、新鮮に感じた。
6	①写真や本で見るだけでなく、自分でその地を歩き自分の目で確かめることの楽しさを味わった。 ②街を全体で見るのと細かく見るのとは、街の見方が変わってとても面白かった。 ③奈良の街は現在ではかなり発達したにもかかわらず、道路や街の形には昔の名残があり、人が多く行き交っていたことに変わりはないと今日の学外調査で分かった。昔と変わらない街だと意識して調査するのはとてもワクワクした。
7	①通学の際、毎日通る道を改めて注意しながら歩くと昔から変わっていない場所の存在や、その他様々なことに気づくことが出来た。 ②また、調査ルートが全国的に有名な観光スポットであることから観光者目線からも調査を楽しむことが出来た。
8	①奈良といえば平城宮跡や奈良公園といったイメージばかりだったけれど、観光地ではなく住んでいる人に近い学びができ、とてもうれしかった。 ②生活していると、駅と家と学校の往復なので、今回佐保川近くなどあまり行ったことの無い場所に行き、奈良の違った面が見れてとてもうれしかった。
9	今と昔では風景が全く違うように見えるが、名残として残っているところがあることや、記念碑が建てられていることに興味を覚えた。
10	①変わりゆく街の中にも残り続ける、昔からの姿のままの建物を見ることで昔のその街の風景が目に見えやすくなるようで面白かった。 ②石碑などにより、その場所に以前は何があったのかを知ることができ、どのように街が変わっていったのかを推測できる面白さがあった。
11	奈良市で、変わってしまった場所はたくさんあるけれど変わっていない場所もあるのだと知って、面白いと思った。昭和の頃だけでなく、もっと昔の時代で変わっていない場所も知りたいと思った。
12	現在の町の風景からは想像できないような昔の風景があり、その中でも少し名残があるものや変わらずに残っているものもあるという事が面白いと思った。
13	①大学の裏手に、あのようにきれいな花々が咲いている学生崖があるとは知らなかったもので、ちょっとした穴場を知った気分になった。 ②もともと路面に走っていた電車が、地下鉄になった理由は、街の景観を壊さないためか、それとも単に広い道路を作るためだったのか疑問に思った。 ③観光客が多いためか、街中では英語や中国語の表記が数多く見られた。

3の3表 勉学発展性

【活動事項】

今回の活動で得られた知識、経験を今後のあなた自身の勉学にどう活かすか。

調査者番号	観察内容
1	①今回は、今まであまり考えて来なかった「道路」に目を向けることが一つのテーマになっていたが、そのようにまちづくりについて考察する際、今までと違うもの見方、そし

研究資料

	<p>てそれによる発見をしていきたい。</p> <p>②そして何かテーマや目的を決めてから学外調査に当たる。また、自分の主観以外の視点もする（他人の目線も考慮する）。</p> <p>③そのようにして見つけた、考えた事柄を、身近なことに接点を見つけ、より現代生活の改善の手立てを講ずる。</p>
2	<p>①ガラガラ池が埋められたことなど まだまだたくさん奈良について知らないことがあることが分かった。</p> <p>②今回の活動経験から、自分自身がその町を歩くことが大切だと分かった。今後も町を歩く時には 景観資源や危険などを意識していきたい。</p>
3	<p>①今回の活動では、昔あったものと今あるものの対比をみました。奈良の様々な地域でまだまだ同じように変わっているところがたくさんあると思うので、自分で調べて回ってみたいと思います。バスツアーに行く際に、いくところの歴史を調べて、今と昔がどう変わっているのか、変わっていない点はあるのかを探しながら行ってみたいと思いました。</p> <p>②奈良に限らず、私の地元である愛知県史の歴史も調べてみたいと思いました。また、今回大学を飛び出して奈良を散策してみて、改めて奈良を訪れる外国人観光客の多さに驚きました。</p> <p>③これから奈良に住む四年間、外国人の人に声をかけられる機会もあると思うので英語や奈良の歴史を学ぶのはもちろん、今日のマクドナルドの店員さんのように日本のホスピタリティ精神を大切にしていきたいと思いました。</p>
4	<p>移動中における観察や地域調査の仕方や気を付けるべき点がわかったので、これらの経験を二回生以降の必須科目であるフィールドワーク科目での調査に活かせるようにしていきたい。</p>
5	<p>①これから様々なフィールドワーク体験やバスツアーの調査をしていくうえで、どんなことを調べたら良いのか、調査時にはどんなことを聞けば良いのか、どんなことに注意すればよいのかを学ぶことができました。この報告書に書いた項目や、ほかにも自分が興味を持ったことについてどんどん調査していきたい。</p> <p>②次回からはもっと観察して、具体的に書き込めるようにしたい。</p> <p>③誰かの説明があって、自分がスマートフォンを持っている時は、ボイスメモを使うと良いかもしれない。</p>
6	<p>①今回の活動では自分の足で歩き体感する楽しさや大切さを知ることができたので、また次の調査も楽しんで行きたいと思った。</p> <p>②今回の活動で得た奈良の歴史についての知識をさらに深く掘り下げていきたい。</p>
7	<p>①[3]の1. で記載したように実際に体感する大切さを感じることが出来た。</p> <p>②観光客や他の人々を目にするだけで、人々がどこに注目しているかを発見することが出来た。</p> <p>③多少の英会話が出来ると更に調査をする際に役立つと感じられた。</p>
8	<p>①地形や建築物などを今と昔で比較し、変わったこと変わっていないことを知ることで普段何気なく通っている道でも見方が変わるということが分かった。</p> <p>②実際にその場所を訪れ自分の目で見るのが大事だということが分かった。その場所の今と昔を知ることが、まちづくりのアイデアを考えるためには必要だと感じた。</p> <p>③今回は見て回ったので、次回は住んでいらっしゃる方にお話を聞いて、より知識や考えを深められたらいいと思った。</p> <p>④フィールドワークからその地の特色や歴史を知ったうえでまちづくりの発想を得たいと思った。</p>
9	<p>普段何気なく通っている道にも歴史があり、地域の人々と共に現代まで進化してきたことを再発見し、今後のフィールドワークでどのようなことを観察すればよいのか学んだため、今後のフィールドワークでの一つの視点として取り入れていきたい。</p>
10	<p>①今後、普段の時やフィールドワーク時に今回発見した街の変遷の様子が他の地域でも見ることができるか、また他にもどのような変化がそれぞれの地域で起こっているのかを推</p>

大学近隣地域での基礎ゼミにおける野外活動報告

	<p>測しながら街を観察することができる。 ②今回発見した注意点を次回以降のフィールドワーク時に意識し、よりスムーズな、価値のあるフィールドワークを目指す。</p>
11	<p>マクドナルドの店員さんのように、外国人観光客の方々に対して英語で会話を成立させられるような英語力を身につけたいと思った。</p>
12	<p>地域について学ぶ時は、昔の姿と比べてみると新しい発見がうまれる。またバスツアーの研究でも、昔の姿と比べるとという案は面白いと思う。</p>
13	<p>今回学んだこと、発見したことは私がやりたい地域経済の研究の際に、奈良の街がどのようなであったか、またそのように作られた経緯や歴史的背景などに対する考察が役立つと考える。</p>

